



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

今成小だより



令和5年7月3日発行

開校50周年＆「ふるさと学習」推進

昨年度は川越市の市制100周年でした。そして、今年度は今成小学校の開校50周年を迎えます。周年行事は、過去を振り返り先達に感謝するとともに、未来に向けて明るい希望を抱き執り行われるものと思います。

そのため本校では、保護者代表の皆さんを中心に50周年事業実行委員会が組織されています。子どもたちの思い出に残る催し物になることを願い、記念式典や当日の流れ、遊具の設置や航空写真など多くの事柄について検討を重ねていただいています。

また、先月号の速報のとおり、今成小のマスコットキャラクターの名称が右のように決定しました。現代っ子らしいネーミングですが、大人も考えさせられるようなメッセージも含まれています。昨年度以降、多くの皆さんのご協力により、子どもたちの思いが込められた夢のあるすばらしいキャラクターが誕生しました。ありがとうございました。



- (いまなりん・むっちゃんプロフィール)
- ・開校50周年を記念して子どもたちのアイデアをもとに登場
 - ・今成は、毎年春につばめもやってくる自然豊かな地域
 - ・つばめの名前は「いまなりん」、いもむしの名前は「むっちゃん」
 - ・自分とは違う生き物とも共存できるように、お互いを認め合いみんなが仲よく過ごすことができるように、という願いが込められている

地域を川越を学び、ふるさとを大切にすることを育む

周年行事が続く機会を生かして、学校では「ふるさと学習」に本格的に着手しました。学校や地域など身近な場所を知ることから始め、その後は範囲を広げます。自分たちの住む地域や川越の魅力を学び、探究することで、ふるさとを大切にすることを育んでいきたいと考えています。

ところで、子どもたちは「ふるさと」と言うとなんを思い浮かべるのでしょうか。

先日、2年生に聞いたところ、「生まれた所」「昔いた所」「みんなが住んでいる所」「自分たちの町」「富士山」「自然」…と答えは様々でした。各学年の発達段階に合わせて、地道に着実に「ふるさと学習」を進めたいと考えています。また、中学校とも連携し、川越への愛着と誇りをもち、将来、自分のふるさとに貢献しようとする気持ちが子どもたちの心に育つことを期待したいと思います。

保護者・地域の皆様には、引き続きのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



多くの保護者の皆様のご協力のもと、まちたんけんに出かけた2年生。JAの窓口ではしっかりと質問できました。



市立博物館・美術館での見学の後、本丸御殿にも足を延ばした6年生。学芸員さんの詳しい話を聞くことができて大満足！

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす